

12歳以上の子どもたち及び保護者の方へ

新型コロナウイルスから自分とあなたの周りの方を守るため、ワクチンの接種を受けましょう

私たち小児科医は、ワクチンを接種するメリットが、ワクチンの副反応や、ワクチンの接種を受けず、実際に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に罹患したときのリスクを大きく上回ると考え、12歳以上の子どもたちのワクチン接種をおすすめします。

小児において、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者の多くは軽症ですが、デルタ株の拡大に伴い感染者が急激に増加し、中には重症化する例も認められます。また、感染を広げた先に、ワクチンの接種を受けることのできない12歳未満の子どもたち、妊婦、高齢者、障害や病気を持った人がいるかもしれません。そして、現在大きな制限がかかっている学校や普段の生活を取り戻すために、ワクチン接種は大いに意義があると考えています。

ただ、ワクチン接種にあたっては、下記のようなメリットとデメリットを本人と保護者（養育者）が十分に理解していることが大切です。

【ワクチン接種のメリット】

- ① 個人に対しては、COVID-19に対する高い予防効果が期待できます。
- ② 社会に対しては、自分自身が免疫を持つことが周囲の人を守ることに繋がり、大勢の人がワクチンを受けることにより、流行を押さえることができます。つまり、周りにいる、小さな子どもたちや、妊婦、高齢者などを守ることができます。
- ③ 流行を押さえることで、以前の生活（学校生活）を取り戻せます。

【ワクチン接種のデメリット】

- ① 接種後、数日以内に、発熱、接種部位の痛み、筋肉痛、倦怠感、頭痛が認められることがあります。しかし、いずれの症状も2～3日で軽快します。まれに、接種直後にアナフィラキシー反応や、緊張や接種したときの痛みで気分が悪くなる子どもたちがいますが、接種会場ではこれらに対応できるよう体制を整えています。
- ② まれですが、主に若年の男性でワクチン接種数日以内に胸痛や息切れといった症状を認め、心筋炎・心膜炎が発生することが報告されています。発症した場合は入院が必要になりますが、ほとんどは軽症であると報告されています。

市町村や県の広域の集団接種会場、小児医療機関での個別接種会場では、子どもたちが安心して接種を受けられるよう、小児科医として全力で支援してまいります。

新型コロナウイルスから、御自身と、あなたの大切な周りの方々を守るため、新型コロナウイルスワクチンの接種を受けましょう！

令和3年9月15日
沖縄小児科学会
沖縄県小児科医会
沖縄県小児保健協会